

第20回 K O S M O S フォーラム

基調講演



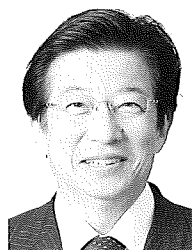
和田 英太郎 (わだ えいたろう)

(独)海洋研究開発機構 地球環境変動領域 物質循環研究プログラム特任上席研究員、
京都大学名誉教授、総合地球環境学研究所名誉教授
専攻分野「生物地球化学、同位体生態学」

昭和14年生まれ
昭和37年東京教育大学理学部化学科卒業
昭和42年東京教育大学理学研究科博士課程修了
同年東京大学海洋研究所助手、米国テキサス大学客員教授、三菱化成生命学研究所室長、
参事を経て、平成元年同研究所部長。平成3年京都大学教授。平成13年総合地球環境学
研究所教授。平成16年より海洋研究開発機構 地球環境フロンティアプログラムディレク
ター、平成21年より現職。著書に「環境学入門3 地球生態学」「流域環境学 流域ガバナンス
の理論と実践」など。共著に「地球化学入門」「地球惑星科学(2)地球システム科学」など。

パネルディスカッション

コーディネーター

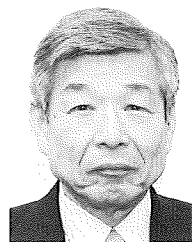


川勝 平太 (かわかつ へいた)

静岡県知事
専攻分野「比較経済史」

昭和23年生まれ
昭和47年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
昭和50年早稲田大学大学院経済学研究科専攻修士課程修了
昭和60年オックスフォード大学哲学博士(D.Phil.)
早稲田大学助手、専任講師、助教授を経て、教授。平成10年国際日本文化研究センター
教授。平成19年静岡文化芸術大学学長。平成21年7月現職。著書に「経済史入門」「静かな
る革命」「日本文明と近代西洋」「富国徳論」「文明の海洋史観」「文明の海へ」「海洋連邦
論」「美の文明」をつくる」「美の国」日本をつくる、近著は「文化力日本の底力」。編著
に「アジア交易圏と日本工業化」。訳書に「鉄砲をすてた日本人」「進化と革命」、共訳に
「近世日本の国家形成と外交」など。

パネリスト



岩槻 邦男 (いわつき くにお)

兵庫県立人と自然の博物館館長、文化功労者、東京大学名誉教授
専攻分野「植物学」

昭和9年生まれ
昭和32年京都大学理学部卒業
昭和38年京都大学大学院理学研究科博士課程修了
京都大学助手、助教授を経て、教授。この間、英国に留学、53年デンマーク・オールフス大学
客員教授。56年東京大学理学部教授に転じ、58年以後理学部附属植物園(小石川・日光)園
長を務めた。平成5年退官。立教大学教授、放送大学教授を経て、平成15年4月より現職。著
書に「日本絶滅危惧植物」「植物からの警告」「多様性の生物学」「文明が育てた植物たち」
「生命系-生物多様性の新しい考え」「日本の植物園」「生物多様性のいまを語る」など。

パネリスト



住 明正 (すみ あきまさ)

東京大学サステナビリティ学連携研究機構教授
専攻分野「気象学、気候力学、大気大循環論」

昭和23年生まれ
昭和46年6月 東京大学理学部物理学科卒業
昭和48年3月 東京大学大学院理学研究科物理学専攻修士課程修了
昭和48年東京管区气象台、50年気象庁予報部電算室、54~56年ハワイ大学気象学教室助
手(派遣)、帰国後気象庁電子計算室にもどり、60年東京大学理学部助教授、平成3年同大
気候システム研究センター教授に就任。平成6年センター長。コンピューターによる気
候モデルの開発に従事。18年地球規模の課題と向き合う第一線の研究者たちによるサ
ステナビリティ学連携研究機構を立ち上げ、フリーペーパー(無料雑誌)「サステナ」の
初代編集長となる。著書に「ビールびんの中の雲-身近なサイエンス入門」、「さらに進
む地球温暖化」「地球温暖化の真実」「予測」、共著に「地球史が語る近未来の環境」「地球
物理学概論」など。



中野 不二男 (なかの ふじお)

ノンフィクション作家、JAXA総合技術研究本部招聘研究員
専攻分野「科学技術(航空宇宙、医学、エネルギー)、文化人類学」

昭和25年生まれ
昭和48年日本大学農獣医学部中退
平成18年東京大学大学院工学系研究科・工学博士(衛星開発技術の定量評価法の研究)
ウィーン・フォタファ通信社写真部を経て、昭和53年オーストラリアへ渡り、シドニー
のエンジニアリング会社(Dorr-Oliver社)技術部に勤務し、ウラン鉱石等の分離装置を
設計するかたわら、オーストラリア連邦政府と国立アボリジニー研究所の援助のもと
で、アボリジニーの都市化現象に関する調査、プーメランの空気力学的特性に関する
研究、執筆活動を行う。著書に「アボリジニーの国」、「マリーとマサトラ」「カウラの突撃
ラッパ-零戦パイロットはなぜ死んだか」「大いなる飛翔」「レーザー・メス-神の指先」
「カラダで地球を考える:完全なる代謝」など。



野家 啓一 (のえ けいいち)

東北大学大学院文学研究科教授
専攻分野「現代哲学、科学哲学」

昭和24年生まれ
昭和46年東北大学理学部物理学科卒業
昭和51年東京大学大学院理学系研究科科学史・科学基礎論専攻博士課程中退
南山大学文学部助手、同講師、プリンストン大学客員研究員を経て、昭和56年東北大学
助教授、平成3年教授。同大学院文学研究科長、副学長を経て平成20年同大学理事・附
属図書館長。第20期・第21期日本学術会議会員、哲学委員会委員長。平成15年7月から19
年6月まで日本哲学会会長。著書に「科学の解釈学」「言語行為の現象学」「無根拠からの
出発」「物語の哲学」「科学の哲学」「歴史を哲学する」「パラダイムとは何か」など。編著
に「哲学の迷路-大森哲学・批判と応答」「ヒトと人のあいだ」、訳書にマッハ「時間と空
間」、ウイトゲンシュタイン「心理学の哲学2」、共著に「フッサール現象学」など。